

大学設置基準等に係る特例制度を活用した

大学連携パートナー校を募集しています。



文部科学省において募集されている以下の二つの特例制度(のいずれか)により、所定の要件・手続を満たした場合、**大学設置基準第19条第1項(授業科目の自ら開設の原則)**を含む対象規定の全部又は一部によらない教育課程が認められ、**自大学開設の読替先科目がない科目**についても、**単位互換制度利用が可能**となりました。

教育課程等特例制度(先導特例)

基準によらない大学の創意工夫に基づく先導的な取組を促進し、その効果検証を踏まえ今後の大学設置基準の改善につなげるため、内部質保証等の体制が十分機能していること等を要件として、認定を受けた大学等に、大学設置基準等の規定によらない取組を認めるもの。

地域高等教育機会確保特例制度(地域特例)

大学進学者数の大幅な減少が見込まれる中、高等教育機関の再編・統合や縮小、撤退を市場経済の選択に委ねるのみでは、**地域から学びの機会が縮減・消滅することとなり、地方に在住する高等教育進学希望者の教育機会の確保に多大な支障が生じるおそれや、地域の人材需給のバランスの崩れが地域生活や産業基盤に大きな影響を与えるおそれがある。**このため、更なる高等教育機関間の連携の取組を推進し、**地域にとって真に必要な一定の質が担保された高等教育へのアクセス確保を図る観点から、認定を受けた大学等に、大学設置基準等の規定によらない取組を認めるもの。**



文部科学省が推進する大学設置基準等に係る特例制度を活用し、**放送大学の遠隔・オンライン教育をカリキュラムに組み込んで**みませんか？

本学が制度活用をサポートします。まずは、右記の担当部署まで、お気軽にご相談ください。

放送大学 学務部 連携教育課連携協力チーム 連携第二係
〒261-8586 千葉県千葉市美浜区若葉2-11
tel : 043-298-4256
mail : renkei@ouj.ac.jp

大学設置基準等に係る特例制度を活用した 放送大学 の活用案



全国の大学等における課題解決に、放送大学の遠隔・オンライン教育が活用できるのではないかな。

- ・放送大学学園法により設置された特別な学校法人である「放送大学学園」が設置する通信制大学
- ・文理幅広い400科目以上を常時開講し、学習～評価までインターネットで完結し、時間と場所から解放
- ・他大学との連携による日本の大学教育の改善を、設立目的に掲げ、全国の約4割の大学と単位互換協定

先
導
特
例

課題例

文理横断的デジタル人材の育成

地域産業人材の育成

多言語対応人材の育成

全国の大学・短期大学

強みの専門分野 × × ×

人文 社会科学 教員養成
芸術 ビジネス 文化
スポーツ 保健福祉 …

強みの専門分野 +

実践的な教育プログラム
地域課題解決型PBL 地域インターンシップ フィールドワーク
学生交流プログラム…

強みの専門分野

観光学 福祉学 幼児保育学
…

放送大学

数理・DS・AI (MDA)関連科目

データ構造の基礎
AIシステムと人・社会との関係
情報セキュリティ概論 …

- ・教養科目や学部共通科目を代替
- ・文理横断型基礎教育体制の構築に活用

多様な語学科目

英語 ドイツ語 フランス語
中国語 韓国語 トルコ語
スペイン語 …

更なる高度化・特色化

出身学部に関わらず、様々な現場で、AI・DSを活用できるデジタル人材の育成

時間と場所の制約がない通信教育で教養部分等を代替し、実践的な学習プログラムに資源集中

様々な現場で、多言語によるサービスを提供・対応できる人材の育成

地
域
特
例

地域の大学コンソーシアム、協議会等

医療等のエッセンシャルワーカー、地域産業人材の育成

⇒看護師/保育士/介護士 等の地域に不可欠な人材育成課程維持における、必要科目の担当教員不足や運用コスト等の問題

⇒一方で、MDA等の新しい必要分野への対応も課題

学生の幅広い関心に応える多様なカリキュラムを維持するため、地域共同利用の教養科目プラットフォームを構築

⇒担当教員のリクルーティング問題

⇒受入れ学生数、地域内の立地格差の問題

放送大学

専門分野にも強い開設科目

看護 看護学概説/基礎看護学/小児看護学/成人看護学/老年看護学/精神看護学/母性看護学/災害看護学・国際看護学/地域・在宅看護論/看護管理と医療安全 等

保育・介護

乳幼児の保育・教育/公衆衛生/認知症と生きる/高齢期を支える/中高年の心理臨床 等

MDA

通常の授業科目の外、MDASH「応用基礎」認定講座も

6コース400科目以上
幅広い分野の教養科目群

生活と福祉 人間と文化
心理と教育 情報
社会と産業 自然と環境

通信教育特有の柔軟さ

- ⇒特別聴講学生の受入れ人数制限なし
- ⇒場所、時間に関わらず、学習可能

特例制度活用で、自学開設せず、カリキュラムに組み込み。

更に期待される効果

- 学生面**
 - ・多様なニーズに応える
 - ・幅広い知識の修得
 - ・時間割の自由度向上、活動時間確保
 - ・資格取得によるキャリア形成
 - ・学びの機会の確保
 - ・地域内外での交流、活動機会の充実
- 教学面**
 - ・カリキュラムマネジメントの負担軽減
 - ・教員の研究時間の確保
 - ・小規模、人社系大学等においてもダブルメジャー教育が可能に
 - ・通学困難な学生への、学びの機会確保
- 経営面**
 - ・地域の高等教育アクセス確保、ブランド力向上
 - ・資源の有効活用、新たな教育研究への構造転換や改革の推進
 - ・コスト縮減や教員負担軽減による経営の効率化